

日本骨髄バンクの現状（平成 18 年 4 月末現在）

	3 月	4 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,273	2,918	245,273	310,515
患者登録者数	225	160	3,245	20,461
骨髄移植例数	100	72	-	7,319

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

20 歳未満のドナー登録者数
 4 月 259 人
 合計 2,896 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 4 月新規 94 人
 延長 218 人
 合計 3,195 人（17 年 9 月～）

1 財団の機能的・効率的な運営を検討する会議が発足

平成 17 年度の移植実施数が 900 例を超え、今後さらに財団の業容が拡大することが予測されることから、一層の事業推進に対応するため、財団の組織・運営のあり方を検討する「組織運営検討会議（仮称）」が発足しました。現状の問題点を整理したうえで、機能的かつ効率的な組織・業務運営のあり方などを検討していくもので、5 月 14 日（日）に 1 回目の会議が開催されました。

また、寄附行為の改正により、財団の副理事長が 1 名から 2 名に増員されたことに伴い、伊藤雅治理事が新しく副理事長に選任されました。

2 厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が開催

第 27 回厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が 4 月 14 日（金）、厚生労働省会議室で行われました。内容は、「造血幹細胞移植の現状」として非血縁者間骨髄移植とさい帯血移植の現状と事業内容について報告されるとともに議論の整理が行われました。また、骨髄移植のコーディネートの現状や迅速コースコーディネートの現状が説明され、移植例数の増加に伴い、骨髄採取の受け入れ施設確保や調整医師の負担軽減などが課題であることが報告されました。さらに、委員会メンバーである小寺良尚常任理事より、同種末梢血幹細胞移植におけるドナーの安全性に関する調査報告などが行われました。

3 読売巨人軍をはじめ、骨髄バンクへの支援の輪が広がります

プロ野球の読売巨人軍（原辰徳監督）が、骨髄バンク事業を全面的にバックアップしてくださることになりました。今年に入ってから巨人軍の支援体制が高まりを見せています。

選手のポストカードを作成することも企画されており、東京ドームの 22 番ゲート（正面）での登録呼びかけイベントなどで配布されます。さらに、東京ドームで 5 月 27 日以降に開催される全 41 試合において、読売巨人軍作成の G バンド（リストバンド）が発売され、収益金の一部が財団に寄付される予定です。

22 番ゲートでのイベントは、5 月 27 日（土）を皮切りに、10 月 1 日（日）までの土曜、日曜の計 17 日間を対象に繰り広げられることになっており、当財団職員や首都圏のボランティアの方が参加する予定です。ご協力いただける方は、財団広報渉外部までご連絡ください。17 日間の日程・対戦チームは次ページに一覧表を掲載しました。

加えて、原監督が「日本骨髄バンクニュース第 28 号」（7 月発行予定）の 1 面インタビューに登場します。

= 次ページでも「支援の輪」を紹介

4 ハッスル・エイドや本田美奈子.さん、そして「友情」がミュージカル

<支援の輪 つづき> 株式会社ドリームステージエンターテインメント主催の「ハッスル・エイド 2006」が6月17日(土)にさいたま新都心のスーパーアリーナで行われます。会場前では、ドナー登録会を予定しています。また、本田美奈子.さんの生前の願いから生まれた“LIVE FOR LIFE”が骨髄バンクを全面的に支援して下さることとなり、全国各地で写真展を行うなど、様々な予定が組まれています。

さらに、アメリカで白血病になった中学生の実話をもとに制作され、愛のチャリティ劇場として7年間にわたり全国で300回以上公演してきた「Friendship(友情)」がこの秋、ミュージカルにリメイクされ、上演されることが決まりました。これまで、舞台「友情」では、骨髄バンクの普及啓発や会場での募金活動を行うなど、多くのご支援をいただいています。10月18日(水)から29日(日)まで、銀座博品館劇場(東京都中央区銀座)で15回の公演が予定されています。

読売巨人軍の22番ゲートイベント日程

日程・ 対戦 チーム	5月		6月				7月	
		27日	28日	3日	4日	17日	18日	1日
	千葉ロッテ		西武		東北楽天		阪神	
8月				9月				10月
	5日	6日	19日	20日	9日	10日	23日	24日
	横浜		中日		ヤクルト		阪神	
								1日
								広島

5 高知のデュオが作詞・作曲した歌が初の骨髄バンク支援公認ソング

「笑顔のゆくえ」が骨髄バンク支援ソングとして初めて公認されました。この歌は、高知市内のスーパーマーケットで働きながら、地元でストリートライブを続けてきたアコースティックデュオ「スーパーバンド(略称:スパバン)」が骨髄移植を望む患者さんへの応援歌として作詞・作曲したもので、4月19日の常任理事会で公認が決定しました。応援歌のきっかけとなったのは高知県内で始まった「8万人ドナー登録運動」です。

福岡佐智子さん(ドラ)と五藤裕子さん(ゴッチ)の二人で構成するスパバンは全国展開を果たし、JVCエンターテインメントの所属バンドとなっています。大阪の劇団往来がドナー登録をテーマに公演する演劇「...もう一人の君に! ~夏子~」(6月22日~25日)のテーマ曲にも選ばれました。6月17日のハッスル・エイドにも応援に駆けつける予定です。

CDのシングルカットも予定されており、売り上げのうち11%が財団へ寄付されることになっています。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	6月14日(水) 17:00~19:00 廣瀬第1ビル2階会議室
データ・諺管理委員会	一部非公開	6月18日(日) 13:00~16:00 廣瀬第1ビル2階会議室
理事会・評議員会	公開	6月30日(金) 13:00~16:00 学術センター